

# 八代市公共施設個別施設計画



令和4年3月

八代市

本計画は、各施設の利用状況・劣化状況、当該施設周辺の類似施設や代替施設等を考慮し、行政サービスの維持・向上及び経済性が期待できる方向性を示したものです。これはあくまでも行政内部で検討を行っただけで、利用者や関係団体等への説明・協議を行った上で方向性を確定させたものではありません。具体的に本計画を進めるに当たっては、施設の方向性について利用者や関係団体等に丁寧に説明を行いながら取り組みます。

また、令和2年7月豪雨災害後に策定した八代市坂本町復興計画等の進捗を勘案し、今後、適宜見直しを行いながら進めていくこととしています。

## 目次

I. 個別施設計画策定の背景と目的	1
1. 背景と目的	1
2. 個別施設計画の位置づけ	1
3. 個別施設計画の対象施設	2
4. 個別施設計画の対象期間	2
5. 個別施設計画の進め方	2
6. 令和2年7月豪雨による公共施設（建築物）の被害状況	3
II. 上位計画（市総合管理計画）の概要	6
1. 公共施設マネジメントの必要性	6
2. 市総合管理計画の基本方針	7
3. 更新・維持管理費の削減目標	8
III. 評価方法	9
1. 個別施設の評価方法の考え方	9
IV. 個別施設の方向性	12
1. 個別施設の方向性の考え方	12
2. 方向性毎の施設一覧	12
V. 方向性に沿って算出した更新・維持管理費	15
1. 方向性に沿って算出した更新・維持管理費	15
対象施設一覧	18

# I. 個別施設計画策定の背景と目的

## 1. 背景と目的

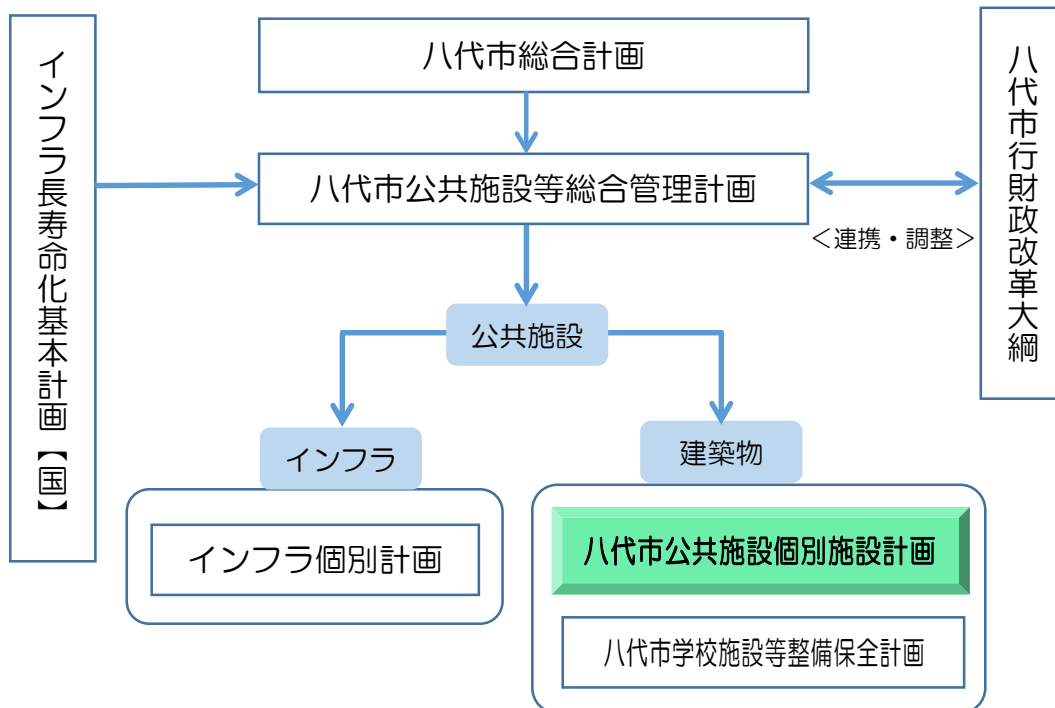
本市においては、平成17年に1市2町3村による合併をしており、建物施設やインフラ施設（以下、「公共施設等」という。）を多く保有することとなりました。公共施設等のうち建築物については高度経済成長期の急激な人口増加と社会変化に伴い整備されたものが多く、約7割が建築後30年経過していることから、近い将来、大規模改修や建替え等更新時期を一斉に迎えることとなります。しかしながら、現在進行している人口減少・少子高齢化により、将来的に税収の減少や扶助費の増加が見込まれることから、公共施設等の維持や更新等に必要な財源の確保は、より一層困難なものとなっていきます。

また、令和2年7月には豪雨災害が発生し、坂本地域の公共施設等は大きな被害を受けたことから、今後、将来を見据えながら復旧・復興に取り組んでいかなければなりません。

このような背景を踏まえ、公共施設等の適正配置や効果的・効率的な運営を示すために、平成29年3月に策定した八代市公共施設等総合管理計画（以下「市総合管理計画」という。）に基づき公共施設（建築物）ごとの具体的な対応方針を示す八代市公共施設個別施設計画を策定するものです。

## 2. 個別施設計画の位置づけ

本計画は上位計画である市総合管理計画における、公共施設（建築物）ごとの具体的な対応方針を示します。なお、学校施設は本計画と連携・調整を図りながら、別途、インフラ個別計画と併せて策定しています。



### 3. 個別施設計画の対象施設（2022年2月現在）

本計画で対象とする公共施設（建築物）は、次の10分類（施設数178施設）に分けられます。

※学校教育系施設、子育て支援施設、上下水道施設、公園施設及び100㎡以下の単独トイレ等施設は対象外。

No.	分類	施設種類	施設数
1	市民文化系施設	①文化施設 ②コミュニティセンター・集会施設	28
2	社会教育系施設	①社会教育系施設 ②図書館 ③博物館、資料館等 ④社会教育センター等	11
3	スポーツ・レクリエーション系施設	①スポーツ施設 ②観光施設等	37
4	産業系施設	①物産館、販売所等 ②産業振興センター等 ③産業施設等	20
5	保健・福祉施設	①地域福祉施設 ②高齢者、障がい者福祉施設 ③保健衛生施設	14
6	医療施設	①医療施設	2
7	行政系施設	①庁舎、支所、出張所 ②事務所	9
8	公営住宅	①公営住宅	29
9	供給処理施設	①供給処理施設	3
10	その他施設	①その他施設	25

### 4. 個別施設計画の対象期間

本計画の期間は、2022年度から2029年度までの8年間とします。

なお、社会情勢や本市の政策動向等によって公共施設等を取り巻く環境は変化し得るため、上位計画である市総合管理計画の改定時期を目安として、計画内容の見直しを適宜行います。

### 5. 個別施設計画の進め方

本計画は、上位計画である市総合管理計画の目標達成に向けて各公共施設（建築物）の方向性を示したものであり、具体的に本計画を進めるにあたっては、各公共施設（建築物）の方向性について利用者や関係団体等に丁寧に説明を行いながら取り組みます。

## 6. 令和2年7月豪雨による公共施設（建築物）の被害状況

### (1) 豪雨災害の概要

令和2年7月豪雨により、坂本地域のインフラ・建築物は甚大な被害を受けており、インフラについては道路決壊や橋梁（深水橋・坂本橋・鎌瀬橋）及び鉄道橋梁（球磨川第一橋梁）の流失、また、建築物被害棟数は全壊147棟、半壊160棟、一部破損102棟（令和3年11月1日現在）に上りました。本市が所有する公共施設（建築物）につきましても7施設が浸水・倒壊の被害を受けています。



[写真] 坂本町坂本（国土地理院提供）








[写真] JR肥薩線橋梁流失



[写真] 県道158号線土砂流出・路面崩壊

(2) 本計画対象施設の被害状況

No.	施設名称	被災・対応状況	写真
1	坂本支所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1階部分水没</li> <li>・令和2年8月に応急仮設庁舎として旧松陵スポーツセンター跡地駐車場にコンテナハウスを設置。</li> <li>・令和3年3月に仮設庁舎建設。</li> <li>・解体中</li> </ul>	
2	広域交流センターさかもと館 ※イベント交流施設及び川遊び交流拠点施設「さかもとかわの家」も含む。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水没</li> <li>・令和2年9月から、物産館機能（特産品等の販売）をさかもと温泉センター施設内に臨時的に移転。</li> <li>・令和3年5月に仮復旧を終え、令和3年6月にプレオープン。</li> <li>・令和3年7月に本施設敷地内に仮設商店街を建設すると共に物産館の営業再開。</li> </ul>	<さかもと館> 
			<イベント交流施設> 
			<川遊び交流拠点施設「さかもとかわの家」> 

3	西部文化財収蔵施設	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1階部分水没</li> <li>・内部整理中</li> </ul>	
4	坂本コミュニティセンター	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1階部分水没</li> <li>・令和2年9月から事務所機能を坂本地域福祉センターに臨時的に移転。</li> <li>・解体中</li> </ul>	
5	西部地区多目的集会施設	<ul style="list-style-type: none"> <li>・床上浸水</li> <li>・修繕を実施済。</li> </ul>	
6	坂本駅前団地	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水没</li> <li>・解体中</li> </ul>	
7	荒瀬ダムボートハウス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水没</li> </ul> <p>※令和3年4月に解体済のため、対象施設としていません。</p>	



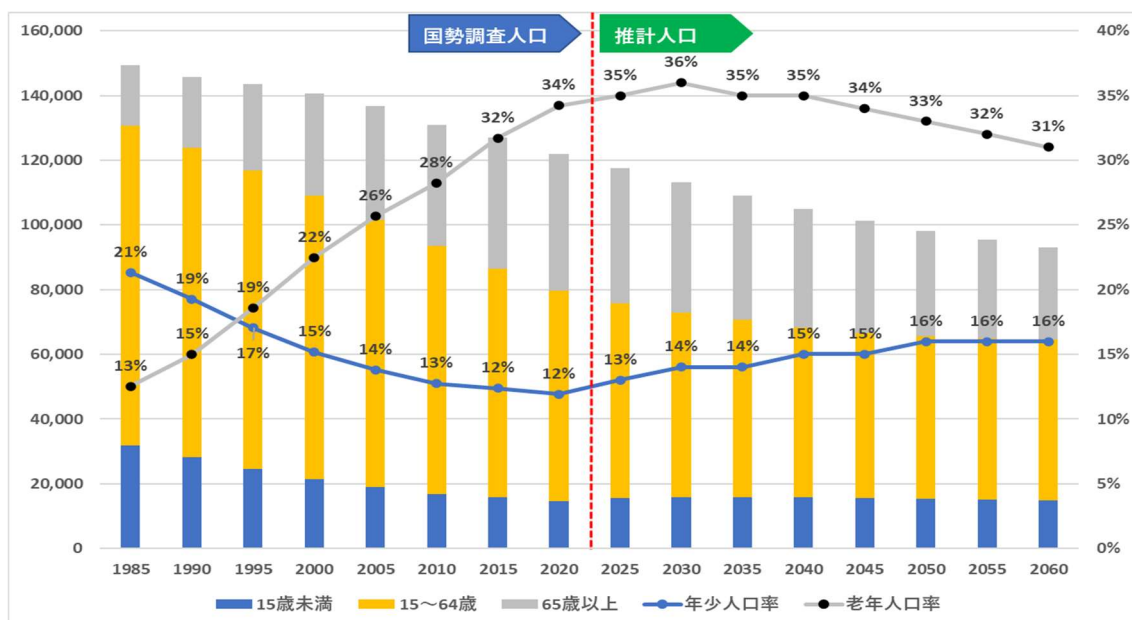
## Ⅱ. 上位計画（市総合管理計画）の概要

### 1. 公共施設マネジメントの必要性

#### (1) 将来人口推計

本市では、「第2期八代市人口ビジョン」（令和3年3月）を策定し、将来人口を推計しています。推計では人口減少がそのまま進行し、2060年には2020年国勢調査結果である123,067人から24%程度減少し、93,100人になるとしています。年齢区分ごとにみると、2030年には老年人口率が年少人口率の2.6倍程度まで増加し高齢化が進行するものと推計しています。

#### ■ 年齢区分別将来人口



グラフ中、値は、1985～2020 総務省統計局「国勢調査各年結果」  
2025～2060 第2期八代市人口ビジョン（令和3年3月）

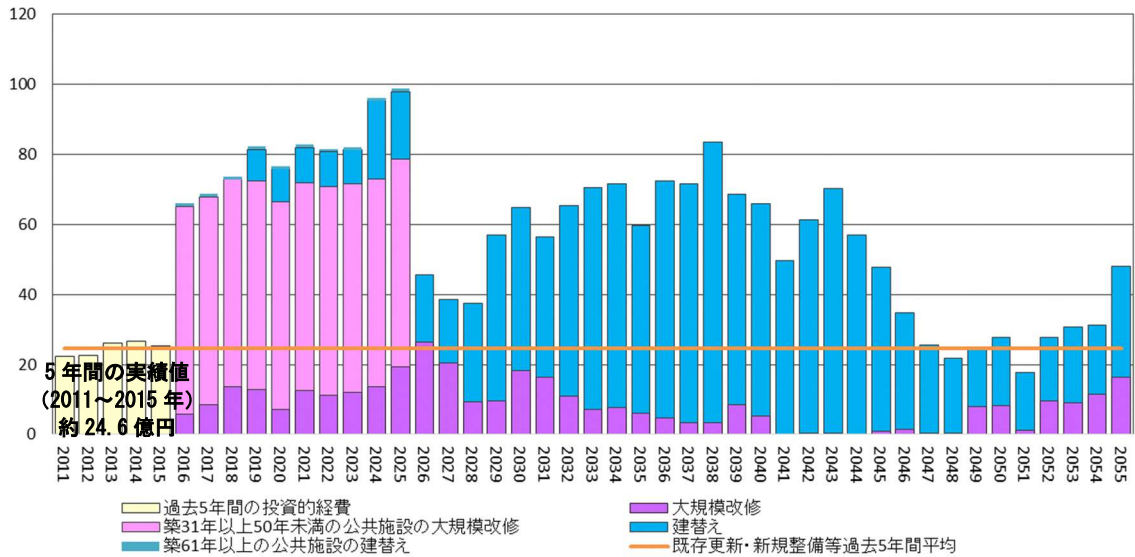
#### (2) 将来の更新費用の見通し

公共施設（建築物）に投資できる普通建設事業費の2011年から2015年の5年間の平均は約24.6億円となっています。

一定の条件を想定し、築年別の整備状況に合わせて今後40年間に見込まれる更新費用を推計すると、合計で2,315億円、年平均で約57.9億円が必要と推計されます。これは、現在、公共施設（建築物）に投じている普通建設事業費に比べ約2.4倍の水準になります。

しかしながら、前項で示した人口減少・少子高齢化により、将来的に税収の減少や扶助費の増加が見込まれていることから、公共施設（建築物）の更新に必要な財源の確保は、今後より一層困難なものになると予測されます。

## ■ 公共施設（建築物）の更新費用の見直し



### (3) 公共施設マネジメントの必要性

人口減少及び少子高齢化により、公共施設（建築物）もそれに見合ったものにしていくための見直しが必要となります。また、税収の減少と社会保障に係る経費の増加が進んでおり、公共施設（建築物）の改修や建替え等に必要な財源の確保が厳しくなることが予測されていることから、次の3つの基本方針に従い「公共施設マネジメント」を行い、今ある資源、資産を最大限に有効活用することで、コスト削減と行政サービスの維持・向上を図る必要があります。

## 2. 市総合管理計画の基本方針

### <基本方針1> 公共施設（建築物）の適正配置と施設総量の縮減

#### ① 公共施設（建築物）の新規整備の抑制

- ・ 既存施設の複合化や転用、民間施設の利用等、新規整備に頼らない対応を検討し、新たな施設の取得・建設は原則として行いません。
- ・ 検討の結果、新規整備となった場合にもニーズや市場性を考慮した規模、機能を持った施設とし、機能が重複する施設の整備は行わないようにします。
- ・ 既に建設が決定している施設に関しては、それぞれの建設計画に基づき建設を進めますが、完成後の維持管理費については、効率的な維持管理とファシリティマネジメントの概念を導入した新たな管理手法を検討し、維持管理の最適化に努めます。

#### ② 既存施設の見直し（複合化、縮減）

- ・ 施設機能の移転や施設の統廃合を含めた施設保有のあり方など、施設の統廃合や複合化の可能性を検討します。

＜基本方針２＞公共施設等の計画的な予防保全等の実施による長寿命化

①ニーズの高い施設については、長寿命化を図ることでより長く利用できるようにします。

＜基本方針３＞公共施設等の効率的な管理運営

①維持管理コストの最適化

- ・維持管理コストに関しては、ファシリティマネジメントの概念を導入し、効率的な維持管理に努めます。

②民間活力の積極的な活用

- ・資産経営の推進にあたり、官民連携（PPP Public Private Partnership）の考え方を取り入れ、民間活力を導入していくことは、公共施設等の運営維持において有効となる場合があります。今後は、民間活力導入の可能性について民間との意見交換や情報交換を行うサウンディング調査、PFI法に基づく民間提案制度等、民間事業者からの発案を受け入れる工夫をしながら、この取り組みを強化し、地域経済や雇用を意識しつつ「民でできることは民で」を基本に、民間活力の導入を拡大していくことを進めていきます。

3. 更新・維持管理費の削減目標

前項に掲げた基本方針における取り組みを実施することにより、本市の公共施設（建築物）の全てを現状のまま維持・更新した場合の40年間の推計金額である約3,776億円を、40%圧縮することを目標として定めています。

■公共施設（建築物）を現状のまま更新・維持管理した場合の費用推計額内訳

費目	金額	備考
更新費	約2,315億円 (約57.9億円×40年)	市総合管理計画で示した、公共施設(建築物)の将来の更新費用推計。
維持管理費※	約1,461億円 (約36.5億円×40年)	市総合管理計画の対象となる公共施設(建築物)の全てを維持管理した場合の費用推計。

※ 維持管理費の数値は、市総合管理計画に明記していないため、本計画策定にあたり算出。

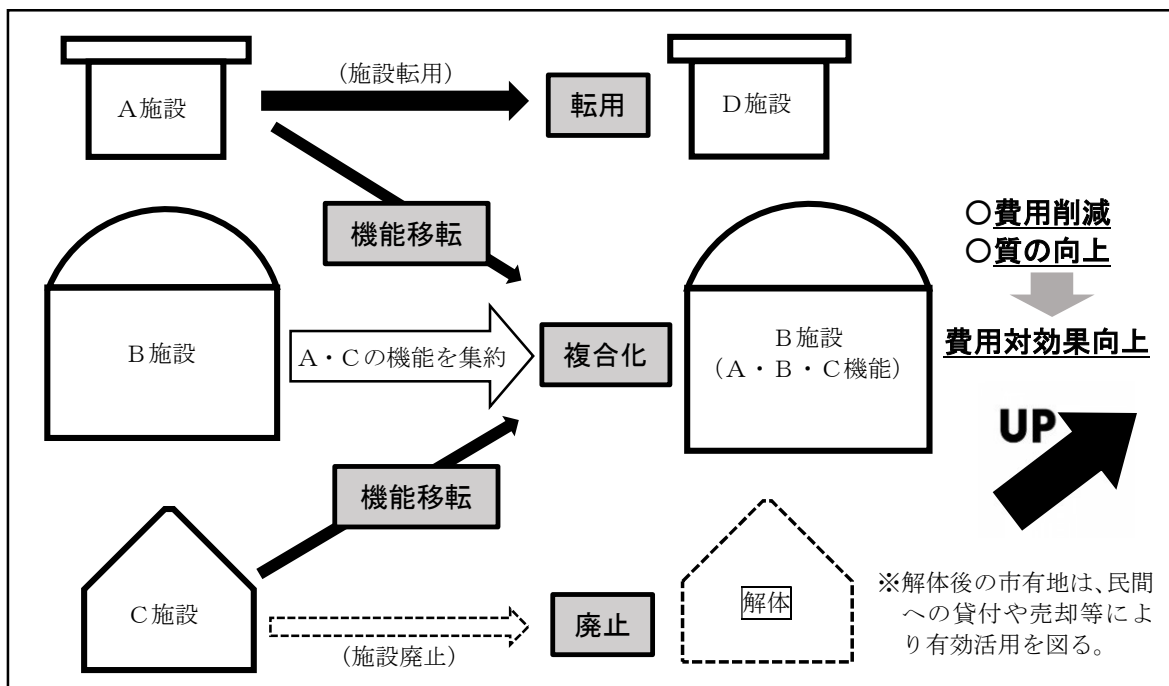
### Ⅲ. 評価方法

#### 1. 個別施設の評価方法の考え方

##### (1) 個別施設の方向性検討の基本的な考え方

施設の方向性を検討する際の基本的な考え方として、今後の公共施設（建築物）の新規整備をできるだけ抑え、今ある施設の機能移転や統廃合を進めることにより、施設の適正配置と総量縮減を目指すこととしますが、必要な行政サービスは残していくことを前提として、各施設にある機能の集約や他の用途に転用することにより、経費削減だけでなく、利用者の使い勝手の向上も目指します。

##### ■機能移転・統廃合・転用のイメージ図



##### ■八代市の公共施設（建築物）の転用例

###### 【旧宮地東小学校】

旧宮地東小学校は、平成25年度末に閉校となった市立小学校です。平成26年度に利活用の公募を行い、福岡県で飲食業を営む民間事業者から宿泊施設として利用すると応募があり、事業計画等の審査を経て、平成27年7月から令和2年度末（※）まで事業が実施されました。過疎化がすすむ八代市の中山間地域に立地する廃校が、様々な世代の方々が集う施設として生まれ変わったことで、地域の活性化に繋がりました。



###### ◎ 経費削減効果（平成27年7月～令和3年3月）

※1年目は無償貸付、令和2年度は新型コロナウイルス感染防止の観点から9か月休館。

・維持管理コストの削減	約1,100千円／年×5年＝約5,500千円	
・貸付による収入	150千円／月×21か月＝3,150千円	
	50千円／月×15か月＝750千円	∴ 合計 約9,400千円

## (2) 方向性の主旨

各公共施設（建築物）の方向性は、次のいずれかの用語で示しています。各方向性の主旨は次のとおりです。

方向性	主旨
A. 建替	老朽化した施設を建て替えて、引き続き使用すること。
B. 複合化	他施設の異なる機能を統合すること。
C. 統合	同一用途の複数施設を該当施設に統合すること。
D. 転用	別の機能に変更して使用すること。（貸付も含む。）
E. 機能移転	機能（サービス）を別の施設に移転すること。
F. 売却	施設を民間団体等に売却・譲渡すること。
G. 廃止	利用していない施設、または更新せず利用しなくなった施設を取り壊すこと。
H. 検討	施設の利用人口やニーズ等の社会情勢を考慮し、施設の方向性について検討を行うこと。

## (3) 方向性の検討方法

各公共施設（建築物）の方向性の検討は次の2段階の方法で検討します。

### ①施設簡易評価による定量的評価

各施設の利用状況、劣化状況、維持管理費の実績等の定量的なデータを基に評価を行います。評価結果は「維持保全」「更新検討」「転用・統合」「廃止」の4項目に分けます。

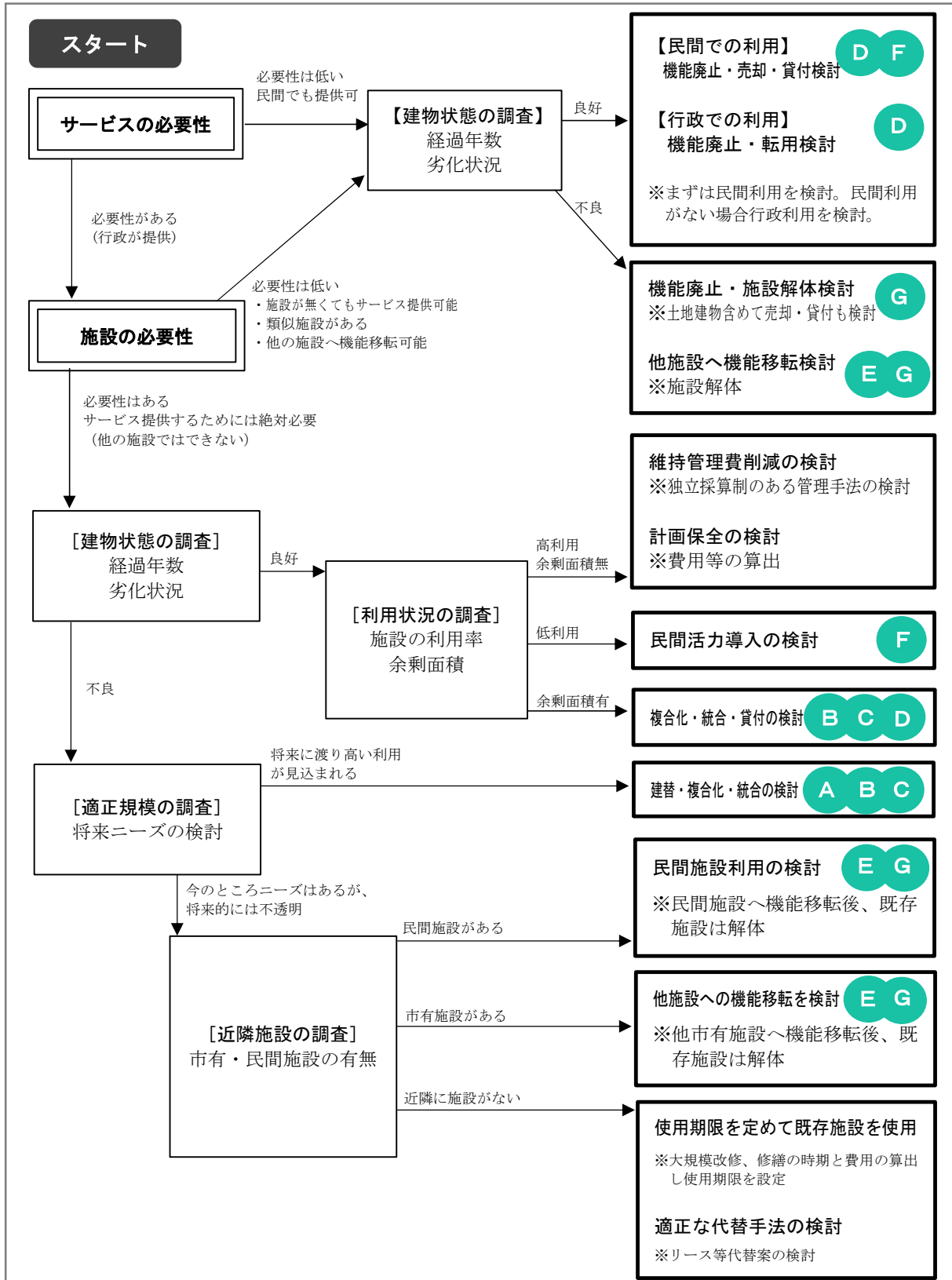
### ②施設所管課へのヒアリング等による定性的評価

①の簡易評価だけでは判断できない、サービスの必要性や地域へもたらす影響、今後の活用方針などの定性的な要素に加え、八代市坂本町復興計画等の進捗も考慮した上で、施設の方向性を検討するために施設所管課へのヒアリングを行います。①簡易評価の結果と②施設所管課へのヒアリング結果を踏まえた上で、市としての各施設の方向性を示します。

なお、各施設の方向性を検討する際は、次頁のフロー図に従いサービスの質及び経済性において最も効率的な手法を選択します。

## ■個別施設方向性の検討フロー図

各公共施設（建築物）の方向性については、次のフロー図を基に検討を行います。  
 ※一番右に記載しているアルファベットは、前頁の（２）方向性の主旨にリンクしています。  
 アルファベットが記載されていない項目は、施設の方向性ではなく、運用に関する方向性となっています。



## IV. 個別施設の方向性

### 1. 個別施設の方向性の考え方

市総合管理計画における基本方針を踏まえ、目標である更新・維持管理費用の40年間で40%削減の達成に向けた市の考え方を示すものとして、本計画の計画期間である8年間の各公共施設（建築物）の方向性を示しています。

ただし、社会情勢等の環境の変化や施設の劣化状況等により変更が生じる場合があります。

※本計画期間中に建替えなどの更新を行わない施設、現状の用途から変更がない施設（119施設）については、維持管理に努めることとし、「2. 方向性毎の施設一覧」に掲載していません。

### 2. 方向性毎の施設一覧（59施設）

#### （1）建替 **A** 3施設

建替施設	備考
[市民文化系施設]坂本コミュニティセンター [行政系施設]坂本支所	八代市坂本町復興計画で再建の方向性が示されている施設
[市民文化系施設]金剛コミュニティセンター	施設全体の老朽化が進んでおり、浸水想定4.2mの区域にある施設

#### （2）複合化 **B** 8施設

複合化施設	機能移転施設	備考
振興センター五家荘	←五家荘憩いの家	建替えを行う振興センター五家荘内に五家荘憩いの家の機能を移転し複合化する。
鏡支所	←鏡保健センター	鏡支所内に鏡保健センターの機能を移転し複合化する。
泉コミュニティセンター	←泉支所	泉コミュニティセンター内に泉支所の機能を移転し複合化する。
浄化槽汚泥処理施設	←衛生処理センター	浄化槽汚泥処理施設内に衛生処理センターの機能を移転し複合化する。

#### （3）統合 **C** 該当なし

#### （4）転用（民間活用等） **D** 10施設

転用施設	備考
[スポーツ・レクリエーション系施設]久連子古代の里、五家荘草花資料館、五家荘自然塾 [産業系施設]ふれあいセンターいずみ集会所・会議室	交流人口拡大と地域経済の発展に繋がるよう民間による利活用の促進等を図る。
[その他施設]旧宮地東小学校、旧種山小学校内ノ木場分校、旧河俣小学校校舎、旧泉第一小学校、旧泉第三小学校、旧八千把小学校浜分校体育館	廃校となった旧学校施設で、現在は普通財産となっていることから、民間による利活用の促進等を図る。

(5) 機能移転 **E** 6 施設

機能移転施設	備考
[保健・福祉施設] 総合福祉センター	施設内に地域療育センターを設置しているが、老朽化が進んでいるため、現在の機能を他施設に移転する。
[保健・福祉施設] 西松江城老人憩いの家	特に設備機器の老朽化による維持管理の負担が大きいため、他施設の利用を促す。
[保健・福祉施設] 地域ふれあいセンター	旧保育園施設で老朽化による雨漏り等が発生しているため、現在の機能を他施設に移転する。
[保健・福祉施設] 鏡地域福祉センター、東陽地域福祉保健センター	デイサービス機能の廃止により施設稼働率が低くなっているため、現在の機能を他施設に移転する。
[その他施設] くま川教室	旧保育園施設で施設全体が老朽化しているため、現在の機能を他施設に移転する。

(6) 売却 **F** 2 施設

売却施設	備考
[保健・福祉施設] シルバーワークプラザ八代	施設が設置された経緯から、専ら施設を使用するシルバー人材センターへの譲渡を図る。
[保健・福祉施設] 市立希望の里たいよう	社会福祉事業団や施設が設置された経緯、利用者への配慮などから、専ら施設を使用する社会福祉事業団への譲渡を図る。

(7) 廃止 **G** 9 施設

廃止施設	備考
[公営住宅] 迎町団地、毘舎丸団地、古城町団地、沖町団地、妙見町団地、日奈久団地、海士江町道上団地、三江湖団地	八代市営住宅長寿命化計画の方向性において、廃止となっている施設
[その他施設] 旧清掃センター	機能を廃止した施設

(8) 検討 21 施設

検討施設	備考
[社会教育系施設] 深水社会教育センター、鮎婦社会教育センター、田上社会教育センター、久多良木社会教育センター、さかもと青少年センター・分館 [スポーツ・レクリエーション系施設] 百済来スポーツセンター会議室、さかもと温泉センター、坂本憩いの家 [産業系施設] 広域交流センターさかもと館、生活館、鶴喰生活改善センター、深水生活改善センター、久多良木地区多目的集会施設、西部地区多目的集会施設 [保健・福祉施設] 坂本地域福祉センター	坂本地域復興に合わせて検討を行う施設
[市民文化系施設] 厚生会館 [スポーツ・レクリエーション系施設] 市立武道館、鏡武道館	類似施設や近隣施設など他施設と総合的な検討が必要な施設
[市民文化系施設] 千丁コミュニティセンター、日奈久コミュニティセンター [その他施設] 斎場	老朽化が進んでいるため、建替や大規模改修などの更新の検討が必要な施設



【参考】本計画以外で施設の方向性等を示す計画・あり方検討会等

課名	名称等	計画期間または開催年度
復興推進課	八代市坂本町復興計画	令和2年度
復興推進課	八代市坂本町復興まちづくり計画	令和3年度
環境課	八代市し尿処理施設基本構想	平成28年度
環境課	八代市斎場設備状況調査および施設整備構想	平成28年度～令和12年度
こども未来課	八代市立保育所のあり方	平成25年度
観光・クルーズ振興課	八代市観光施設あり方検討会	平成26年度～平成28年度
文化振興課	八代市文化ホール等あり方検討会	令和2年度
スポーツ振興課	八代市体育施設あり方検討会	平成27年度
水産林務課	八代市水産振興ビジョン	令和元年度～令和7年度
住宅課	八代市営住宅長寿命化計画	令和3年度～令和12年度
教育施設課	八代市学校施設等整備保全計画	令和元年度～令和38年度
教育政策課	八代市学校給食施設再編整備方針	令和3年度
学校教育課	八代市立学校規模適正化基本計画	平成23年度～
学校教育課	八代市立幼稚園規模適正化等審議会	令和3年度
水道局	八代市新水道事業ビジョン	令和元年度～令和10年度

## V. 方向性に沿って算出した更新・維持管理費

### 1. 方向性に沿って算出した更新・維持管理費

今ある公共施設（建築物）をそのまま更新・維持管理し、耐用年数経過時に単純更新した場合の8年間の合計金額は約755億円になる見込みですが、本計画の個別施設方向性に沿って長寿命化対策等を推進した場合の更新費及び維持管理費の8年間合計の見込み金額は約508億円となり、約247億円削減（約32.7%削減）することになります。

※更新費は、建替費、大規模改修費、解体費などをいいます。

※維持管理費は、委託費、光熱水費などの維持管理に係る経費をいいます。

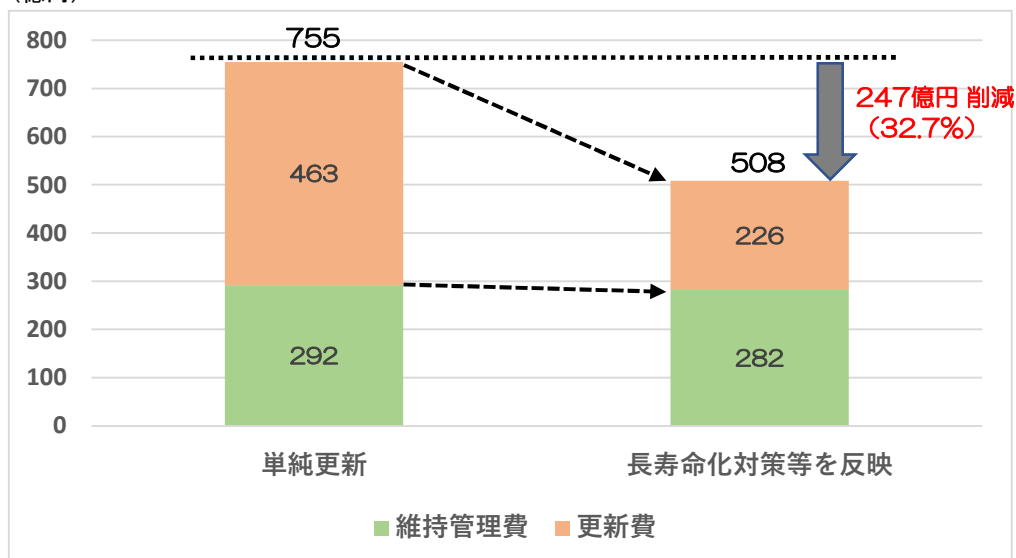
表 耐用年数経過時に単純更新した場合の費用の見通し

費目	金額
更新費	約463億円 (約57.9億円/年×8年)
維持管理費	約292億円 (約36.5億円/年×8年)
計	約755億円

表 長寿命化対策等を反映した場合の費用の見通し

費目	金額
更新費	約226億円 (約28.2億円/年×8年)
維持管理費	約282億円 (約35.2億円/年×8年)
計	約508億円

(億円) 図 単純更新した場合と長寿命化対策等を反映した場合の比較



上図から長寿命化対策等を行うことにより、更新費に大きな差が出ていることがわかります。

また、上位計画である市総合管理計画の削減目標は「今後40年間で更新・維持管理費を40%（約1,510億円）削減」としていますが、本計画期間である8年間で、その目標の約16.4%を達成することになります。

#### 【更新・維持管理費用の算出方法・基準】

本計画の方針に沿った更新・維持管理費は、集計する施設の「建築年」「施設類型」及び「延床面積」に対して、以下の単価や更新・改修周期等の条件を当てはめて算出しています。

ただし、個別施設毎の改修履歴等により、実際の更新時期が以下の条件に当てはまらない施設については、それぞれの施設の状況に合わせて、更新時期等を設定しています。

#### ■施設の更新等に係る基本単価

施設類型	大規模改修費 (万円/㎡) ※	建替費 (万円/㎡) ※	解体費 (万円/㎡)
行政系施設	25	40	3.8
市民文化系施設	25	40	
社会教育系施設	25	40	
スポーツ・レクリエーション系施設	20	36	
産業系施設	25	40	
学校教育系施設	17	33	
子育て支援施設	17	33	
保健・福祉施設	20	36	
医療施設	25	40	
公営住宅	17	28	
供給処理施設	20	36	
その他施設	20	36	

※総務省推奨の公共施設等更新費用試算ソフトによる。

#### ■建替時の延床面積

建替時の施設の延床面積を、建替前の70%に設定。

※「公共施設等の集約・複合化による経済・財政効果について」（内閣府）による。

■構造別更新サイクル（耐用年数）

市総合管理計画では、耐用年数を60年、大規模改修周期を30年として試算していますが、本計画では、下表を用いて試算しています。

構造	RC造・SRC造		木造	鉄骨造	その他
	新耐震	旧耐震			
耐用年数	80年	70年	50年	50年	50年
大規模改修周期	30年				

※「建築物の耐久計画に関する考え方」（日本建築学会）による。

■学校教育系施設の更新・維持管理費

八代市学校施設等整備保全計画（令和元（2019）年10月策定）による。

※対象施設は小・中・特別支援学校、給食センター、幼稚園

■対象施設一覧（2022年2月現在）

1. 市民文化系施設（28施設）

施設種類	施設名称	施設数
① 文化施設	厚生会館 鏡文化センター やつしろハーモニーホール 民俗伝統芸能伝承館 西部文化財収蔵施設	5
② コミュニティセンター・ 集会施設	代陽 コミュニティセンター 八代 コミュニティセンター 太田郷 コミュニティセンター 植柳 コミュニティセンター 麦島 コミュニティセンター 松高 コミュニティセンター 八千把 コミュニティセンター 高田 コミュニティセンター 金剛 コミュニティセンター 郡築 コミュニティセンター 宮地 コミュニティセンター 宮地東 コミュニティセンター 日奈久 コミュニティセンター 昭和 コミュニティセンター 二見 コミュニティセンター 龍峯 コミュニティセンター 坂本 コミュニティセンター 千丁 コミュニティセンター 鏡 コミュニティセンター 東陽 コミュニティセンター 泉 コミュニティセンター 赤星公園 水竹居の館 西宮、上日置集会所	23

## 2. 社会教育系施設（11施設）

施設種類	施設名称	施設数
① 社会教育系施設	八代市公民館	1
② 図書館	市立図書館 市立図書館 せんちょう分館 市立図書館 かがみ分館（鏡文化センター内）※	2
③ 博物館、資料館等	市立博物館未来の森ミュージアム	1
④ 社会教育センター等	深 水 社会教育センター 鮎 帰 社会教育センター 田 上 社会教育センター 久多良木 社会教育センター 仁田尾 社会教育センター さかもと青少年センター さかもと青少年センター 分館	7

※他施設内に設置されているため、施設数に計上していない。

### 3. スポーツ・レクリエーション系施設（37施設）

施設種類	施設名称	施設数
① スポーツ施設	市テニスコート クラブハウス・観覧席 弓道場 市球技場 更衣室 市民プール 管理棟 市民球場 内野スタンド 総合体育館・旧テニスコート管理棟 市立武道館 百済来スポーツセンター 会議室 千丁体育館 千丁テニスコート 更衣室 鏡体育館 鏡プール 更衣室 鏡武道館 鏡総合グラウンド 観客席・トイレ 東陽スポーツセンター 国体ウェイトリフティング競技練習場	16
② 観光施設等	観光物産案内所 矢山岳関連施設 松中信彦スポーツミュージアム 東陽石匠館 八竜山自然公園 さかもと八竜天文台・宿泊施設 五家荘平家の里 緒方家 左座家 久連子古代の里 五家荘溪流キャンプ場 五家荘草花資料館 五家荘自然塾 梅の木轟公園管理施設 日奈久観光交流施設 黒島観光漁業基地休憩所 三ツ島観光漁業基地休憩所 日奈久温泉センター 東湯 さかもと温泉センター 坂本憩いの家 産地形成促進施設東陽交流センター「せせらぎ」	21

#### 4. 産業系施設（20施設）

施設種類	施設名称	施設数
① 物産館、販売所等	広域交流地域振興施設（八代よかところ物産館） 農林産物等直売施設「菜摘館」 ふれあいセンターいずみ 広域交流センターさかもと館	4
② 産業振興センター等	振興センターいずみ 振興センター五家荘 事務所・住宅 働く婦人の家 サンライフ八代 高等職業訓練校 校舎・実習棟 泉農村研修センター 定住センター 生活館 鶴喰生活改善センター 深水生活改善センター 久多良木地区多目的集会施設 西部地区多目的集会施設	12
③ 産業施設等	五家荘やまめ中間育成施設 農林産物流通加工施設 農産物加工施設 水産物荷さばき施設	4

#### 5. 保健・福祉施設（14施設）

施設種類	施設名称	施設数
① 地域福祉施設	地域ふれあいセンター 総合福祉センター 坂本地域福祉センター 鏡地域福祉センター 泉地域福祉センター 東陽地域福祉保健センター 柿迫いきがいセンター	7
② 高齢者、障がい者福祉施設	西松江城老人憩いの家 五家荘憩いの家 五家荘デイサービスセンター シルバーワークプラザ八代 市立希望の里たいよう	5
③ 保健衛生施設	保健センター 鏡保健センター 千丁健康温泉センター（公民館内）※	2

※他施設内に設置されているため、施設数に計上していない。



## 6. 医療施設（2施設）

施設種類	施設名称	施設数
① 医療施設	市立下岳診療所 市立椎原診療所 市立泉歯科診療所（振興センターいずみ内）※	2

※他施設内に設置されているため、施設数に計上していない。

## 7. 行政系施設（9施設）

施設種類	施設名称	施設数
① 庁舎、支所、出張所	本庁舎 坂本支所 千丁支所 鏡支所 東陽支所 泉支所 龍峯出張所 日奈久出張所	8
② 事務所	八千把地区土地区画整理事務所	1

8. 公営住宅（29施設）

施設種類	施設名称	施設数
① 公営住宅	迎町団地 毘舎丸団地 古城町団地 沖町団地 妙見町団地 西片町団地 日奈久団地 植柳上町第1団地 海士江町団地 海士江町道上団地 若宮団地 三江湖団地 井揚町団地 流藻川団地RC・流藻川団地 築添団地 西宮団地RC・西宮団地 高島団地 麦島団地 坂本駅前団地1・坂本駅前団地2 中次団地 郷開団地 淵ノ本団地 下岳上団地 平団地 氷川台団地 氷川台第二団地 上日置団地 新町団地 公営楠住宅	29

9. 供給処理施設（3施設）

施設種類	施設名称	施設数
① 供給処理施設	環境センター 衛生処理センター 浄化槽汚泥等処理施設	3

10. その他施設（25施設）

施設種類	施設名称	施設数
① その他施設	斎場 大型共同作業場 石橋憩いの家 河俣集会所 旧日奈久若竹保育園 旧栗木保育園 旧西湯 旧日奈久老人憩いの家 旧種山小学校内ノ木場分校 旧河俣小学校 旧泉第一小学校 旧泉第三小学校 旧おおぞら授産所 旧鮎婦保育所 旧松陵スポーツセンター 旧田上スポーツセンター 旧宮地東小学校 旧金剛小学校敷川内分校 旧八千把小学校浜分校体育館 くま川教室 旧清掃センター 新八代駅関連施設 旧鏡西部小学校 旧千丁駐在所 旧百済来診療所住宅	25